

2020 3/10

No.2110

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



小田急線片瀬江ノ島駅（藤沢市片瀬海岸）の新駅舎の外観工事がおおむね完了し、2月28日に改札など一部施設の供用が開始された。竜宮城をイメージした朱塗りに緑色の屋根という旧駅舎の印象を継承している。全体の完成は、5月を予定。



| | |
|----------------------------------|----|
| 視点点描 | 3 |
| ニュースを所有する時代 | |
| 社会 | 4 |
| 列島覆う「コロナ」ショック | |
| 政治 | 6 |
| 日本の「ケネディ」になれるか 小泉進次郎氏が憧れる人 | |
| 五輪 | 10 |
| 人づくり、人間教育目指す 「夢への挑戦」で山下JOC会長 | |
| 国際 | 12 |
| 埋没する日本、生き残るために 寺島実郎氏「米中二極でなく」 | |
| アジアの風 | 14 |
| 比人が動かしていたクルーズ船 | |
| NNAアジア経済レポート | 15 |

事務局だより

◇2020年4月定例講演会

4月22日(水)午後1時30分～3時

ホテルニューグランド本館2階「レインボーボールルーム」
講師は株式会社ファンケル
名誉相談役、ファウンダーの
池森賢二氏

演題は「社会課題解決型の企業」
【おことわり】27日に開催を予定しておりました3月定例講演会「ヨロズのグローバル経営」は、新型コロナウイルスの感染拡大による安全への影響を考慮し延期といたしました。新たな開催日は決定次第お知らせいたします。ご迷惑をお掛けしました。

【訂正】政経かながわ2月25日号のシンポジウム「2020年の動向を読む」詳報7ページの小見出しは「日韓関係と米大統領選」の誤りでした。

【お知らせ】神奈川政経懇話会ではホームページと会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045(226)2121。

視点 点描



ニュースを所有する時代

新型コロナウイルスの感染拡大がもたらした社会不安が止まらない。安倍首相は2月27日、全国の小中学校と高校、特別支援学校に臨時休校を要請する考えを表明し、全国に影響が広がっている。首相の発表の翌日、東京で全国のメディアと意見を交換する機会があった。その際に、こんな取り組みを教えてもらった。

東北地方のある街。少子高齢化の流れで、ある中学校が年度末に閉校することが決まっており、最後の卒業式に向けて準備が進められていた。だが、臨時休校要請のニュースが流れた翌日の2月28日金曜に、授業は学校の歴史とともに突然、ピリオドが打たれることになる。

気付いた地元紙の記者は学校に

走り、当惑する生徒たちの様子を取材した。同業他社の姿はない。「抜きダネ」だ。

新聞の慣例上は、翌日の紙面に掲載されるまで、表に出ることはない。だがこのニュースは、すぐ地方紙のウェブサイトで公開されている。

ニュース発信の新たな試みが生まれている背景にあるのは、スマートフォンの普及だ。神奈川新聞のウェブサイトを「カナロコ」でも現在、アクセスされるデバイスの割合はパソコンをスマホが大きく上回り、7〜8割を占めるようになってきている。

ニュースを収めて持ち運ぶ「入れ物」はかつて、紙だった。だが今では、次々に新しいニュースが更新される小さな電子の箱を、個人が携えているのに等しい。もはや個人の所有物ともいえるニュースへの関心を呼んでいくために

は、業界の常識にとらわれていてはならない、というわけだ。

横浜市旭区で2月、道路から水が噴き出し、一時は水柱が高さ10メートルほどまで上がる騒ぎがあった。記者が現場に走り、動画を撮影してきた。ネットで公開すると、たちまち再生回数が2万回を超え、SNS上でも拡散された。水道管のメンテナンスやインフラの老朽化に懸念を示す声が、一緒に付いていった。

スマホに収められて個人の持ち物になったニュースが、個人の身近な関心と結びつき、リアルな思いを伴って社会課題の解決を求める声になり、広がっていく。メディアのデジタル化の流れの後ろには、そんな新しいメディア像の足音が続いてくることになるのかもしれない。

(神奈川新聞社編成部長代理

高橋 融生)